

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策		進捗状況(%)					
生涯にわたる 1 学習活動を促進する	<p>自分にあった学習の場や機会を得ることができていると感じている市民の割合</p> <p>H19 36.1% H21 36.5% 目標値 48.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、平成20年2月に、「中央教育審議会」から、社会全体の活性化を図る生涯学習社会の実現や、家庭や地域の教育力の向上を図るための方策を講じることが急務との考え方が提示 県では、学習機会の充実と学習成果の活用促進、家庭と地域の教育力の向上、読書活動の推進等の施策を推進 本市では、市議会から、地域の指導者として活躍できる人材の確保、子どもの育ちや地域社会を支える人づくりを実現するための体制整備、地域ぐるみで子どもを育む環境整備などについて指摘 	1 社会をつくる人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数(人) マナビスの登録件数(講座) マナビスの登録件数(団体・講師) 	<p>44.752/34,000</p> <p>131.6%</p> <p>1,539/2,000</p> <p>77.0%</p> <p>353/500</p> <p>70.6%</p>	48.6%	18.9%	<p>・全生涯学習センターで開催される講座・事業への参加者数は、目標値を大きく上回る状況。市民一人ひとりの人間力向上や、地域づくりや社会活動を促進</p> <p>・人と人、人と地域をコーディネートする仕組みづくり、地域社会に貢献する人材の育成、新たな本市独自の成人教育のあり方の検討が必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の重要性等について市民の意識醸成に努めるとともに、着実に地域社会に貢献できる人づくりを推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人材育成事業の体系化、学習プログラムの開発・実施」 「地域連携、地域人材の活動機会等のコーディネート仕組みづくりの検討」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「河内ふれあいコンサート交付金」の廃止 「成人式実行委員会交付金」事業活用方策等の検討
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域</p> <p>今後も力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域</p> <p>重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1. 社会をつくる人づくり ◆</p> <p>2. 家庭・地域教育力向上 ▲</p> <p>3. 生涯学習活動支援 ●</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策指標の進捗状況が76%であり、各施策の進捗状況についても概ね目標を達成。各種講座等による学習機会の提供や図書館事業の充実などの取組により、市民の学習活動を促進 市民の生涯学習に対する重要性の認識を深める取組が必要 人や団体同士の交流機会の充実、学習活動を活かす機会や場の創出、人材育成やその仕組みづくりが必要 	2 家庭・地域の教育力の向上	<p>放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数(人)</p>	<p>5,026/4,680</p> <p>107.4%</p>	66.4%	25.9%	<p>・放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数は目標値を大きく上回る状況。親力向上事業の推進により、参加者の意識が向上</p> <p>・親力向上事業の効果的な実施、関係団体や企業との連携強化の効果的な手法の検討、宮っ子ステーション事業実施校区の拡大に向けた取組などが必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者となる人材の育成や情報提供等の支援充実、宮っ子ステーション事業実施校区拡大、小中一貫教育における地域学校園の取組を展開する中で、家庭・地域の教育力の底上げを図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体や企業とのさらなる連携強化による、子どもを育む体制や仕組みづくり、人材育成 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域教育活動支援補助金」の廃止

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)		施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)		実績値/ 目標値 進捗状 況(%)	施策 重要度	施策 満足度	現状と課題	今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	・取り巻く環境 ・現状と課題	構成する施策に関する 市民意識調査結果		・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策	・生涯学習コーディネーターの人数(人)					
生涯にわたる 1 学習活動を促進する			3 生涯学習活動への支援充実	・生涯学習コーディネーターの人数(人)	57/100 57.0%	61.1%	34.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習コーディネーターは着実に育成されており、人と人・団体同士の交流機会が増加傾向。図書館事業について、施策目標への高い貢献度 ・人材交流機会の充実や学習成果を生かす場の創出が必要。また、学習プログラムの開発や、生涯学習センターや地域コミュニティセンター間の連携の仕組みづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の考え方】 ・生涯学習センター・図書館等での事業の充実とともに、学んだことを地域活動につなげる仕組みづくりなどを推進 【重点事業】 ・「人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施」「地域との連携の仕組みの構築」 【見直し事業】 ・「子どもの本連絡会活動補助金」の廃止 ・「生涯学習センター文化祭負担金」のうち、合同文化祭分の廃止 	
				・地域教育メッセ出展団体数(団体)	35/50 70.0%					

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値 進捗状況(%)	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
信頼される学 校教育を推進 する	<p>子どもたちに対して、充実した学校教育が行われていると感じている市民の割合</p> <p>H19 30.8% H21 34.1% 目標値 41.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、新学習指導要領により授業時数の増加を示すとともに、障害者基本計画を踏まえた特別な支援を必要とする児童生徒の長期的な視点での支援、食育基本法を踏まえた豊かな人間性の育成、スクールニューディール構想による学校耐震化、エコ化、ICT化などを推進。また、子ども手当創設、公立高校授業料無償化などの家庭の教育費負担軽減を充実 本市では、市議会から、学力向上、食の安全の向上、小中一貫教育、校舎耐震化、いじめ不登校対策、小1プロブレム対策などについて質問 	1 学力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容定着度調査での正答率(中学3年生の国語)80%以上の割合(%) 学習内容定着度調査での正答率(中学3年生の国語)50%未満の割合(%) 	69.4/80 86.8%	66.5%	14.9%	<ul style="list-style-type: none"> 国語、算数・数学、英語で正答率に伸びが見られ、確かな学力を身につけた児童生徒を育成 教員の授業力向上とともに、正答率50%未満の児童生徒の割合を減らすことが必要 授業以外の学習支援の取組みの一層の推進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き教員の授業力向上の推進とともに、学力や学習習慣等の調査に基づく指導の工夫・改善や、正答率50%未満の生徒の割合を減少 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「指導主事による学校訪問の充実」 「授業力向上プロジェクト」 「放課後等を活用した学習支援策の検討」
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 今後力を入れていくことが求められる領域 見直し・効率化が求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容定着度調査および新体力テストでは、成績上位者の伸びとともに底上げを達成 「魅力ある学校づくり地域協議会」が全校で立ち上げ 特別支援教育に関し、「かがやきルーム」の設置校増加による保護者等の理解定着 更なる学力の底上げに向け、授業力の向上の取組の引き続きの推進や、これまで以上に開かれた学校運営の推進が必要 特別支援教育では、発達支援ネットワーク会議のさらなる活用が必要 小1プロブレム対策として、さらなる幼保小連携の取組が必要 	2 豊かな人間性と健やかなからだの育成	<ul style="list-style-type: none"> いじめの解消率(%) 新体力テスト総合評価のA段階の割合(中学3年生)(%) 新体力テスト総合評価のD段階の割合(中学3年生)(%) 	98.3/96 102.4% 17.9/19.9 90.0% 94.4/95.9 98.5%	78.4%	17.0%	<ul style="list-style-type: none"> 朝食欠食児童生徒が減少 いじめの解消率が高くなるなど、一定の成果 「お弁当の日」など新たな取組みの適切な進行管理と評価が必要 自校炊飯拡大や部活動推進などの具体策の検討が必要 携帯電話使用に係る問題など社会環境の変化に伴う新たな課題への対応が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巧妙化するいじめや、成長期の子どもの食生活などの課題への対応、義務教育9年間を通したキャリア教育の充実 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校教育における食育」「うつのみや元気っ子プロジェクト」「部活動」「宮っ子すくすくノーケータイプラン」「いじめゼロ運動」「教育相談事業」「心の教育推進事業」「適応支援教室事業」等の推進 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平和教育啓発活動」, 「臨海自然教室」廃止 「学校給食における地産地消」, 「地域学校安全指導員配置事業」見直し等

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策
平均
66.7%

全施策
平均
24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値 進捗状 況(%)	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
信頼される学 2 校教育を推進 する		<p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のさらなる授業力の向上と児童生徒への学習支援策の拡充を図るとともに、地域学校園ごとの学校・保護者・地域が一体となった取組や、特別支援教育に関する啓発活動や関係機関との連携の強化、幼保小連携に関する課題の研究などを推進 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上の推進」 指導主事による学校訪問の充実、学力向上プロジェクト、放課後などでの学習支援の検討 ・「小中一貫教育制度の導入」 モデル地域学校園での検証 ・「特別支援教育」 	3 地域と連携した 独自性のある学校経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅力ある学校づくり地域協議会」での教育活動等の充実を図るための事業数(件) ・「うつのみや学校マネジメントシステム」での「連携協力により教育活動等の充実を図っている」と判断する地域住民の割合(%) 	898/910 98.7%	64.7%	19.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅力ある学校づくり地域協議会」事業の活発化など、家庭・地域等との連携による学校運営が推進 ・協議会事業のより一層の推進とともに、H24年度の地域学校園の全市実施に向け、地域学校園協議会などの導入検討が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22年度のモデル地域学校園実施を踏まえ、地域の教育力を学校教育に活用する取組の改善と着実な遂行 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魅力ある学校づくり地域協議会」 ・「モデル実施を踏まえた小中一貫教育の効果的な手法等の検討」
			4 教育環境の充実	耐震化率(学校校舎・体育館)(%)	61.9/83.1 74.5%	67.8%	17.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等耐震化の着実な推進とともに、普通教室等冷房化はH21年度までに完了。全教室にデジタルテレビを導入 ・校舎大規模改造の適正時期での事業実施や、諸室等配置の再検討が必要 ・リフレッシュスクール事業の整備計画の十分な検討が必要 ・既整備ICT基盤の最大限の活用による教育環境の充実が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の安全性確保や老朽化への対応の計画的な推進とともに、学校事務の効率化に向けた取組を推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校舎・体育館等耐震化の速やかな事業完了」 ・「大規模改造事業」 ・「既整備ICT化基盤活用による事務の効率化」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リフレッシュスクール事業等」整備計画検討 ・「学校運営活性化事業」
			5 特別支援教育の充実	特別な支援を要する児童生徒に対し、個別の指導計画を作成して指導している学校の割合(%)	76.5/98 78.1%	67.5%	13.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画作成率や活用する学校の割合が向上 ・「かがやきルーム」等の支援体制の充実や、保護者等への引き続きの啓発が必要 ・幼児期から一貫した支援体制の検討が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに関する啓発活動の継続実施とともに、一人ひとりのニーズに応じた一貫した支援体制づくり <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かがやきルームの中学校への設置」 ・「発達支援ネットワークを活用した一貫した支援提供の体制づくり」

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策
平均
66.7%

全施策
平均
24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値 進捗状 況(%)	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
信頼される学 2校教育を推進 する			6 高い指導力と情 熱をもつ教職員の育 成	・「教職員ひらめき提案 制度」への応募件数 (件)	174/3 00 58.0 %	74.7%	10.8%	・アンケート等で、教職 員育成に関して一定の評 価 ・研修等の事業の充実な ど、長期的展望での教職 員人材育成の仕組みの構 築が必要	【今後の考え方】 ・人事権移譲のあり方の 研究とともに、本市独自 の教職員人材育成システ ムを構築 【重点事業】 ・「教職員研修事業」
				・「教職員は協力し、教 えることはしっかりと熱 心に指導している」と判 断している保護者の割合 (%)	85.0/ 90.0 94.4 %				
			7 幼児教育の充実	幼稚園地域子育て支援 事業実施園数 (園)	42/48 87.5 %	67.5%	12.6%	・幼稚園における地域子 育て支援事業実施園数が 増加 ・小1プロブレム解消に 向け、就学前教育・保育 と小学校教育との一層の 円滑な接続が必要	【今後の考え方】 ・幼稚園就園支援など従 来の事業の継続実施とと もに、地域学校園の推進 を踏まえた幼保小連携の 更なる強化 【重点事業】 ・H24小中一貫教育実施 にあわせた幼保小連携の 強化
8 高校・高等教育 の充実	市内8大学の公開講座 数 (回)	79/80 98.8 %	69.6%	12.4%	・大学コンソーシアム栃 木との連携などにより、 積極的に講座等を開催 ・奨学金貸付事業の積極 的なPRや、市内大学等 との連携強化による講座 等の拡大が必要	【今後の考え方】 ・市民一人ひとりの高度 で専門的な学習機会の充 実に向けた取組の積極的 な展開 【重点事業】 ・「奨学金貸付事業」 ・「市内大学との連携促 進」 ・「ニーズを捉えた市民 大学の実施」など			

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/目標値 進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等							
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策														
3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	<p>宇都宮の伝統や文化に個性や魅力を感じている市民の割合</p> <table border="1"> <caption>宇都宮の伝統や文化に個性や魅力を感じている市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>35.4%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>48.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年次	割合	H19	35.4%	H21	35.6%	目標値	48.0%	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、H19年2月に「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第2次基本方針）」が決定、以後5年間を見通した文化芸術の振興を総合的に推進 県では、H21年度に「県文化振興基金」を創設、文化振興の制度づくりを推進 本市では、H22年3月「市社会教育委員の会議」から、文化振興の担い手となる若手への意識啓発、文化関係者との連携、文化活動に関するきめ細かな情報提供、伝統文化を普及・継承していくための発表の場の創出などの意見 <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民芸術祭等参加者数、文化財保存団体数が増加しており、市民の主体的な文化活動が活発化 文化に興味や関心を持つ市民を増やすため、本市の誇れる文化資源などを活用した文化意識を高める取組の推進が必要 市民の文化的活動の促進とともに、伝統文化継承の担い手づくりの取組の推進が必要 <p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い文化資源を活用して、今後更に文化に興味や関心を持つ市民を増やす取組の推進とともに、文化活動環境の充実や、伝統芸能をはじめ文化財を継承するための担い手の育成や支援を実施 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「『ジャズ』『百人一首』など地域に根ざした文化資源を核にした事業の推進」 「専門組織などと連携した地域や学校での教育普及事業実施」、「活動者への助言・指導など市民の文化活動の推進」 「伝統文化の保存団体などと連携した普及・啓発」「伝統文化を継承する担い手の育成の支援」 	<p>1 文化活動環境の充実</p> <p>市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数(人)</p>	<p>114,221/120,000 95.2%</p>	47.4%	30.7%	<p>・市民芸術祭等の文化活動の参加者が増加しており、施策目標はほぼ達成</p> <p>・文化振興の核となる人材育成や関係団体との連携強化、ハード面における文化活動環境の充実を図ることが必要</p> <p>・市民が施策の重要性をさらに認識する取組を展開していくことが必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の文化活動を支援するための環境の充実を図るとともに、文化を通じて活力と魅力あるまちづくりを推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「『ジャズ』『百人一首』など特色ある文化資源を中心とした、市民の主体的な文化活動の促進」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ジャズのまちづくり」「市民芸術祭」などでの体制等の見直し
	年次	割合														
H19	35.4%															
H21	35.6%															
目標値	48.0%															
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域</p> <p>今後力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域</p> <p>重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1.文化活動環境 ◆</p> <p>2.文化的資源 ▲</p>	<p>2 文化的資源の掘り起こし、保存、継承</p> <p>文化財保存団体数(団体)</p>	<p>48/41 117.1%</p>	62.7%	32.3%	<p>・市民の文化財への興味・関心が高まり、文化財の保存活動が進むなど、施策目標は概ね達成</p> <p>・伝統文化の保存・継承は、市民の主体的な保存継承活動が重要であることから、地域への周知啓発や支援、伝承者の育成をさらに進めていくことが必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財を適切に保存しながら、まちづくりへの活用を図り、文化的資源を活かした活力と特色のあるまちづくりを推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となった、文化財の保存・継承のための仕組みづくりの支援 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継承者育成のための、子どもたちがより多くの文化財に接する機会増の検討 									

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値 進捗状況(%)	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
生涯にわたる 4 スポーツ活動を 促進する	<p>ライフスタイルに応じて、自分 にあったスポーツ活動がで きていると感じている市民の 割合</p> <p>H19: 30.0% H21: 28.4% 目標値: 40.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、H18年9月「スポーツ振興基本計画」を改定、スポーツの振興を通じた子どもの体力向上や地域におけるスポーツ環境の整備充実などを主要な課題として推進 県では、「とちぎスポーツ振興プラン21」を策定し、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる環境の整備を目指す 本市では、市議会から、地域スポーツクラブの育成、市体育館の早期整備、ジャパンカップサイクルロードレースの充実、スポーツを支える人材の育成などについて指摘 <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施策指標については、着実に進捗 スポーツ情報システムの構築、スポーツ広場整備補助金の創設などによる推進環境の整備 <p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの地域スポーツクラブの育成やスポーツ広場整備補助金などの事業により、引き続き、身近な場所でスポーツに親しめる環境の充実が必要 スポーツの大切さや意義についても積極的に情報発信が必要 老朽化したスポーツ施設への効果的な対応が必要 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スポーツの場の提供と、子どもや高齢者が利用しやすい仕組みづくり」 「地域スポーツクラブの積極的な推進、スポーツ情報システムの活用促進」 「スポーツ施設のあり方検討、計画的な改修」 	1 スポーツ活動環境の充実	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率(%)	37.8/44 85.9%	48.2%	31.3%	<ul style="list-style-type: none"> マラソン大会などの参加者が過去最高となり、スポーツ施設の利用者も目標を上回るなど、市民が身近なところでスポーツに親しむ環境の整備が促進 身近な場所でスポーツができる環境の更なる充実に向け、地域スポーツクラブの設立・運営の積極的な支援が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブの設立・運営の積極的な支援、各種スポーツ大会の充実、老朽化するスポーツ施設の計画的な整備・修繕などにより、市民のスポーツ活動実施率を向上 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ジャパンカップサイクルロードレースの充実(クリテリウムの開催)」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ大会開催事業補助金」の廃止 「スポーツ施設のあり方検討」
	<p>1. スポーツ活動環境 ◆</p> <p>2. 人材育成, 団体活性化 ▲</p>	<p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ活動環境の充実とスポーツを支える人材の育成、民間との役割分担に配慮した、身近な地域で気軽にスポーツが続けられる場所や機会の充実 	2 スポーツを支える人材の育成・団体の活性化	スポーツ指導者の登録者数(人)	743/835 89%	41.6%	24.0%	<ul style="list-style-type: none"> 体育指導委員や少年スポーツ指導員を対象とした研修会等を開催、スポーツ指導者の登録者数が増加 スポーツ情報システムの構築により、市民のスポーツ活動を促進する体制が整備 新たなスポーツ指導者の発掘・活用の更なる強化が必要 上河内・河内体育協会との統合を進めることが必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツに関する総合的なホームページを活用するなど、スポーツ指導者の登録者数の増加を図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新たなスポーツ指導者の発掘、活用」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「宇都宮市体育協会と上河内・河内地区の体育協会との統合」

政策評価の結果概要

【政策の柱】

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策		進捗状況(%)					
5 健全な青少年を育成する	<p>青少年が、社会の一員としての自覚をもって、充実した生活を送っていると感じている市民の割合</p> <p>H19 17.5% H21 14.4% 目標値 32.0%</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、H22年4月「子ども・若者育成支援推進法」を施行し、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を地域で支援するためのネットワークづくりなどを促進 本市では、H22年3月「社会福祉審議会」から、子どもの健全な成長には、発達段階に応じた様々な体験や異年齢交流を実現できる場の確保や機会の充実を図る必要性が指摘 <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「非行・問題行動の未然防止」について、巡回指導員による被指導者数は概ね目標に達しており、ここ数年の青少年犯罪の減少などが達成 	1 青少年の社会的自立の促進	<ul style="list-style-type: none"> 若年層（15～34歳）における非労働者（家事・通学を除く）の割合（%） 自立支援相談延べ件数（件） 	-	75.8%	26.1%	<p>・青少年の居場所における異世代交流や自立支援対策事業により、青少年の就労等の社会的自立が促進</p> <p>・青少年のライフステージに応じたきめ細かな支援の実施とともに、地域・青少年関係団体・学校等との一層の連携強化が必要</p>	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政や地域などが連携・協力するとともに、相談体制の充実を図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「青少年自立支援対策事業」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「青少年に対する相談体制の充実」など（NPO法人等の連携を強化しながら、効果的な支援のあり方を検討）
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 今後力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1. 青少年の社会的自立 ◆ 2. 非行・問題行動防止 ▲</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「青少年の社会的自立の促進」について、青少年の個々の事情やライフステージに応じた包括的な支援の実施や、関係機関等との一層の連携強化による施策展開が必要 <p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体との連携・協力のもと、良好な社会環境づくりに取り組むとともに、潜在化するニートやひきこもりといわれる青少年に対する相談体制の充実等を図る <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「青少年自立支援センターの周知」 「ニートやひきこもりの実態把握や若年無業者の就業支援」 「巡回指導活動による非行等の未然防止」 	2 非行・問題行動の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導による被指導者数 ※遡減を目指す指標 地域における延べ巡回指導活動実施回数 	3,524/3,500 99.3%	79.3%	19.8%	<ul style="list-style-type: none"> 青少年巡回指導員による被指導者数は増加しているが、青少年犯罪は減少しており、一定の成果を達成 延べ巡回指導活動参加人数が減少しており、活動の内容の充実を図り、非行・問題行動の未然防止に取り組むことが必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民との連携を図りながら、地域における巡回指導活動などを継続して実施 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「青少年非行防止対策事業」（巡回指導員への研修の充実など） <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「非行防止に関する発活動や講演会の実施」など（国県等の施策との連携による取組の強化）